

# D-TOKYO

## 大学図書館問題研究会東京支部報

<http://www.daitoken.com/tokyo/>

第 225 号 2015(平成 27)年 3 月発行

### 目 次

1. 2014/2015 年度関東五支部合同例会のお知らせ -----1
2. 2014/2015 年度第 1 回支部例会（見学会：東京藝術大学附属図書館）参加レポート ---2
3. 2014/2015 年度第 2 回支部例会（ワークショップ：欧米の学術情報基盤）参加レポート---3
4. 2014/2015 年度第 2 回～第 4 回東京支部委員会記録 -----4

### 2014/2015 年度関東五支部合同例会のお知らせ

下記の通り、関東五支部合同例会を開催いたします。どなたでもご参加いただけますので、お誘いあわせのうえお越しください。

#### 講演会「世界各国におけるデジタルアーカイブの現状と法的側面」

日時：2015 年 3 月 14 日（土）15:00～17:00（予定） \* 終了後、懇親会を予定しています。

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎 321 号室（丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口 1」徒歩 2 分程度）

講師：生貝直人先生（東京大学附属図書館新図書館計画推進室・大学院情報学環特任講師）

講演概要：現在各国においては、欧州ヨーロッパや米国デジタル公共図書館をはじめとして、図書館や美術館・博物館、文書館等が保有する文化資源を電子的に公開する、大規模なデジタルアーカイブの構築が急速に進められている。本講演では、諸外国および日本におけるデジタルアーカイブ構築の現状と、教育研究等における利活用の取組を紹介すると共に、そこで生じている著作権等の法的課題と、今後の解決のあり方について論じる。

\* 参加ご希望の場合は、下記の連絡先まで、懇親会参加の可否も添えてお申し込みください。

申込先：tokyo@daitoken.com（大学図書館問題研究会東京支部）

\* 非会員の方もご参加になれます。ただし、資料印刷代を 500 円頂戴します。

詳細はウェブサイト <http://www.daitoken.com/tokyo/> をご覧ください。

東京藝術大学附属図書館見学記

青山史絵

それは 10 月最終土曜日のこと、のどかなポカポカ陽気の中見学会が執り行われました。

まずはキャンパスツアーから。音楽学部側から「奏楽堂」を概観し、「赤レンガ館」へ。「赤レンガ 1 号館」は都内最古の煉瓦建築で、できた当初は教育博物館（後の科学博物館）の書庫であったとのこと。その隣に配する秀麗な三階建は「赤レンガ 2 号館」。鉄製の重厚な丸窓がなんとも趣深く印象的です。

図書館のある美術学部側に渡り、キャンパス内のまだ少しも紅葉していない深緑の森の中、点在する彫刻を眺めながら進みます。その中にはもちろん岡倉天心先生像が六角堂の下、厳かに鎮座しておられます。その荘厳な雰囲気気圧されて賽銭箱があつたらお供えしそうな心地のまま、絵画棟で巨大な石膏像群を堪能。開始当初から胸にあつた「ここはどこ？これって現実？」感が増す中、いよいよ図書館内へ。

2Fにあるゲートを進むと右手にゆったりとした閲覧席スペースが広がり、そこには土曜の夕方であるにもかかわらず机に向かう熱心な利用者が散見されますが、存外にひっそりとしています。更にその右手に並ぶ書架は見事に美術資料が席卷、カウンターを挟みもう一方にある配架ゾーンにも音楽資料だけが並びます。つまりこのフロア閲覧部にある資料はほぼ全て 7 類で構成されているわけです。

閉架となっている積層書庫に進むと、そこかしこに閲覧には易々と供せない貴重な資料が並んでいる様子。お宝と出会えそうな期待感に落ち着きなく視線を回す我々に、藝大図書館の方々は畳み掛けるように貴重書をご紹介します。ピアノ教本でお馴染みの「バイエル」、それも日本に初めて渡来したもの、NHK も取材した法隆寺金堂壁画特大図版、世界的に活躍しているアーティストの博士論文、横山秀麿（大観）自筆答案等々、時間が許せば延々とご紹介頂けそうな勢いです。本音を言えばもっともっと見せて頂きたいところでした。

ラストは蓄音機コンサート。昨年、世界的な SP レコード・コレクターであるクリストファ・N・野澤氏から膨大なコレクションを寄贈されたとのこと。その恩恵を受け、蓄音機の最高級機といわれる「クレデンザ」の音を聴かせて頂きました。最初の曲はシャリアピンの「ヴォルガの舟歌」。遠くにいる船が徐々に近づき、そして遠ざかっていく様子が音だけで豊かに伝わってきます。その後、エルマンのヴァイオリンによる「タイスの瞑想曲」、クロイツァーのピアノによる「ラ・カンパネラ」と続きます。音の迫力は電力なしとは思えない程ですが、響きは耳に心地よく伝わります。一方、録音時の全てを切り取ったような音は目を閉じて聞くとより真実味を帯び、現実とのギャップによる不思議な非現実感も味あわせてくれました。

たった 2 時間で小旅行でもしたかのような充実した希少な見学会でした。企画、ご案内を下さった東京藝術大学図書館の皆様、本当にありがとうございました。

(あおやま・ふみえ / 東洋英和女学院大学図書館 / 2014 年 11 月 24 日提出)

場所： 東京藝術大学附属図書館（上野キャンパス）

日時： 2014 年 10 月 25 日（土）15:15-17:30 ※当初は 17:00 までの予定

## 2014/2015 年度第 2 回支部例会参加レポート

東京支部例会「ワークショップ：欧米の学術情報基盤」に参加して

長谷川敦史

1月31日（土）、筑波大学東京キャンパス文京校舎にて開催された東京支部例会に参加してきましたので、感想を書かせていただきます。今回のテーマは「欧米の学術情報基盤」。国立大学図書館協会の海外派遣事業に参加された皆様が、その成果を披瀝しつつ、海外派遣のポイントを語ってくださいました。「ぶっちゃけてしゃべっていただけるように、つぶやき禁止」と司会の上村さん。これは期待できるぞ……。

トップバッターは、電気通信大学の上野友稔さん。派遣先はイギリスで、主に電子リソースの管理データベース「Knowledge Base+」（KB+）の構築と運営の現場を語ってくださいました。JISC Collections では、どのような人たちが、どのように KB+の運営に携わっているか。例えば King's College London ではどのように KB+の恩恵を受けたか。そして、日本と対照させてみるとどうなのか。今回の派遣によって現場の声に触れたことで、上野さんご自身がもともとお持ちだった課題が、よりリアルになっていったのではないかと想像します。いえ、Knowledge Base による電子リソース管理の問題は、他人事ではないですよ。私たち自身の、現在の、そしてこれからの問題です。

2番手は、一橋大学の柴田育子さん。派遣先はフランスです。主には、Couperin と ABES、柴田さんの言を借りれば、「フランスの JUSTICE」と「フランスの NII コンテンツ課」の事を語ってくださいました。Couperin と ABES は 750km も離れてるんですね……日本だとあんなに近いのに。ezPAARSE という、コンソーシアム規模での利用統計の話も、興味深いです。と言ったら、追加の資料くださいました（ありがとうございます！）。スライドに掲載されていた職員さんの笑顔がとても素敵で、良い関係を築かれたのだなあ、と感じます。そして、「Couperin の次は JISC Collections で働きたい」と語っていた職員さんの話、コンソーシアムからコンソーシアムへ、っすごいなあ。ヨーロッパの枠組みの中での連携を、現実のものとして感じさせました。

最後は、筑波大学の嶋田晋さんと、千葉大学の谷奈穂さん。派遣先はアメリカで、UMass と Yale です。ここでは、海外派遣でたけになる裏話をたくさん語っていただきました。先方のキーパーソンとの出会い、直行便にのるべき、スケジュール詰め込み過ぎた、北米の距離感を甘く見ない……など。短い研修ですから、こういったところ大事です。

という訳で、みなさん目的意識をもって派遣に臨まれていたのを感じました。最後の質疑応答ではリポジトリにも話が及び、私立大学所属の私ですが、国立大学の海外派遣のお話をがっつり伺える、という大変有意義な例会でした。

（はせがわ・あつし / 早稲田大学図書館 / 2015 年 2 月 27 日提出）

場所： 筑波大学東京キャンパス文京校舎 321 号室

日時： 2015 年 1 月 31 日（土）14:00～17:00

## 2014/2015 年度第 2 回（8 月）～第 4 回（10 月）東京支部委員会記録

紙面の都合上、議事のみ掲載いたします。議事内容の詳細は東京支部ウェブサイトをご覧ください。

⇒ <http://www.daitoken.com/tokyo/operation.html#committee>

### 2014/2015 年度第 2 回 大学図書館問題研究会 東京支部委員会議事要旨

- 1 開催日時 2014 年 8 月 29 日(金) 19 : 00～20 : 45
- 2 開催場所 筑波大学東京キャンパス文京校舎 322 講義室
- 3 出席者（五十音順/敬称略）上村、澤木、呑海、松原、山口、江沢（記録）オブザーバー：西脇（欠席：野村、米倉）
- 4 配布資料 なし
- 5 議事
  - A. 審議事項
    - 1) 支部例会の日程調整
    - 2) 監査人の候補者検討
    - 3) 大図研サイトの東京支部紹介更新
    - 4) 上田会員への支部報復刻版送料お支払い及び東京支部預かり出版物の引き取り方針
    - 5) 関東五支部合同例会の仮スケジュール決定
    - 6) Office365 のパスワード
    - 7) 支部報の著作権規定
    - 8) その他

### 2014/2015 年度第 3 回 大学図書館問題研究会 東京支部委員会議事要旨

- 1 開催日時 2014 年 9 月 29 日(月) 19 : 00～20 : 40
- 2 開催場所 九段生涯学習館 5F 第 5 集会室
- 3 出席者（五十音順/敬称略）上村、澤木、野村、松原、山口、米倉、江沢（記録）（欠席：呑海、西脇）
- 4 配布資料 なし
- 5 議事
  - A. 審議事項
    - 1) 支部例会の出席者及び役割分担確認
    - 2) 支部報発送作業の目安
    - 3) その他

### 2014/2015 年度第 4 回 大学図書館問題研究会 東京支部委員会議事要旨

- 1 開催日時 2014 年 10 月 27 日(月) 19 : 00～20 : 55
- 2 開催場所 筑波大学東京キャンパス文京校舎 322 教室
- 3 出席者（五十音順/敬称略）上村、澤木、松原、山口、米倉、江沢（記録）オブザーバー：西脇（欠席：野村）
- 4 配布資料 なし
- 5 議事
  - A. 審議事項
    - 1) 東京支部例会反省会
    - 2) 関東五支部合同例会進捗報告
    - 3) 次の東京支部例会について
    - 4) 支部報の発行
    - 5) 支部管理出版物の扱いについて

『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京支部報』 第 225 号, 2015 年 3 月

事務局：〒180-0023 東京都武蔵野市境南町 1-3-18-108 上村順一

東京支部メールアドレス：tokyo@daitoken.com

東京支部委員会編集担当：呑海沙織, 野村健, 西脇亜由子